

ニュースリリース

No.17-020
2018年1月18日

2018年度路線便数計画を策定

アイベックスエアラインズ株式会社(本社:東京都江東区・代表取締役社長:浅井孝男、以下 IBEX)は、2018年度の路線便数計画を策定いたしました。

今後当社を取り巻く環境は、急速な人口減少と人口・所得格差の拡大に伴い、少量輸送且つ質を求める時代を迎え、多くの国内地方路線がリージョナルキャリアの活躍領域になることが見込まれます。

将来的な事業領域拡大を見据え、2018年度においては、CRJ700型機(70席)を前年より1機増機し、新たに北海道(札幌・新千歳)及び四国(愛媛・松山)へのネットワーク展開を行います。また、仙台を中心とした既存就航都市においても新規就航・増便を実施し、リージョナル航空ネットワークの強化を図ります。

これらにより2018年度の生産規模は、機材数10機、就航都市数12都市、路便数17路線60便体制に拡大します。

IBEXは今後も、中長期的視点からリージョナルキャリア事業の優位性確立を目指すとともに、地方創生・地方活性化に向け、地域間流動の更なる促進に取り組んでまいります。

路線便数計画の概要は以下の通りです。

記

1. 路線便数計画

(1) 新規開設・増便

路線	便数	実施時期
松山＝札幌(新千歳)	開設 (0→1 往復)	2018年3月25日
仙台＝札幌(新千歳)	再開 (0→1 往復)	2018年3月25日
名古屋(中部)＝松山	開設 (0→1 往復)	2018年3月25日
福岡＝新潟	開設 (0→1 往復)	2018年3月25日
仙台＝福岡	増便 (3→4 往復)	2018年3月25日

(2) 休止

路線	便数	実施時期
名古屋(中部)＝福岡	休止 (2 往復→0)	2018年3月25日

2. 使用機材

CRJ700(70席)

※ 新規開設・増便分についても全日本空輸株式会社とのコードシェアを行います。詳細は本日発表のANA/IBEX共同リリースにてお知らせいたします。

※ 上記路線便数計画は政府ならびに関係機関の認可を前提としております。

以上